

自利利他の 精神を貫いた 闘魂の人生

税理士・飯塚毅氏は、脱税指導の嫌疑をかけられ、不当な税務調査を仕掛けられた。連日大量に送り込まれる調査員、所員の逮捕、顧問先の離脱……。強大な国家権力と戦い続け、そして勝利を収めた男の力の源は何であったのか。小説『不撓不屈』で飯塚事件を描いた作家の高杉良氏と、ご子息の飯塚真玄氏に、飯塚毅氏の生き様を振り返っていただき、不撓不屈の精神をいかに養うか、語り合っていた。



飯塚 毅——いづか・たけし

大正7年栃木県生まれ。昭和18年東北帝国大学法文学部卒業。21年飯塚毅会計事務所を開業。41年TKC設立、社長就任。46年TKC全国会結成、会長就任。58年TKC会長。59年日本会計研究学会「太田賞」受賞。平成2年ニューヨーク大学に「飯塚毅・TKC経済会計研究所」設立。3年財団法人租税資料館を設立、理事長に就任。7年財団法人飯塚毅育英会設立。9年TKC全国会名誉会長。16年自宅にて永眠。昭和38年には「飯塚事件」の当事者となり、45年の無罪判決まで約7年を戦い抜いた。著書に「自己探求——本当の貴方はどれですか。」(TKC出版)ほか多数がある。



飯塚真玄——いづか・まさひろ

昭和18年栃木県生まれ。43年早稲田大学商学部卒業、TKC入社。46年取締役、52年専務を経て、58年TKC社長就任。

高杉 良——たかすぎ・りょう

昭和14年東京都生まれ。化学関係の専門紙記者、編集長を務め、58年退職。この間、50年『虚構の城』(講談社)でデビュー。以来、企業、経済を題材とした問題作を次々と発表。平成11年に発表した『呪縛 金融腐蝕列島2』(角川書店)は自身も脚本に参加して映画化された。ほかに『小説日本興業銀行』(講談社)『不撓不屈』(新潮社)や『金融腐蝕列島』シリーズ(角川書店、講談社、ダイヤモンド社)など多数。『高杉良経済小説全集』(角川書店)がある。